奈良県園長等の資質向上に関する指標モデル

求められる役割	○　園内外の実態に基づいた園経営目標を提示し、広い視野とリーダーシップを発揮して園経営を推進する。 ○　教職員の状況等を的確に把握し、個々の能力が最大限に発揮できるよう人材を配置し、健全で安全な組織づくりを推進する。 ○　園の教育力増進のため、園をとりまく関係者の相互作用が活性化するよう良好なコミュニケーションを推進する。

区分	項目	指標
基礎的資質	法令遵守 人権感覚	・高いコンプライアンス意識と豊かな人間性、鋭い人権感覚を有し、人権尊重の視点に立った園づくりに向けて、誠実かつ公正に職務に当たっている。
	決断力 発信力	・豊かな経験に基づいて的確に判断し迅速に決断する力を有し、教職員・幼児・保護者等に対して明確な意思や説得力のあるビジョンを発信している。
	情熱 責任感	・幼児への深い愛情と教職としての誇りをもって教育に当たるとともに、強い使命感と責任感をもって園経営に当たってる。
	自己教育力 探究心	・社会の動向や新しい教育課題を把握し、幅広い視野で園経営や幼児の育成が行えるよう、研修や情報収集に積極的・継続的に取り組んでいる。
マネジメント力	ビジョンと 目標の具現化	・第２期奈良県教育振興大綱をはじめ、国や県、市町村の教育施策を理解した上で、自園の教育目標を設定し、その具現化に向け目標の共有と教職員間の連携を図りながら組織に取り組んでいる。
		・多様な教育的ニーズに応じた教育活動を推進し、全ての幼児が尊重される園づくりに取り組んでいる。
		・園評価など教育データの結果を踏まえ、教育活動や園運営の状況を把握し、園運営の改善と発展に取り組んでいる。
	教育課程と 保育の改善	・自園の教育目標に基づき、学習上の課題を明確に捉えるとともに、カリキュラム・マネジメントの視点をもち、「学ぶ力」と「生きる力」を育むための教育課程を編成している。
		・各教員に保育改善や園務改善につながるICT活用の必要性を理解させ、教員のICT活用指導力の向上及び自園の教育の情報化を計画的・組織的に推進している。
		・幼児と向き合ったり教材研究を行ったりする環境を整え、各教員のキャリアステージに応じて、保育改善等について適切な指導・助言を行っている。
		・質の高い教育を幼児に提供できるよう園内研修の推進を図る。 ・就学前教育に関わる研究会等の活動に積極的に関わるなど、県や郡市での教育研究活動の推進に寄与している。
	危機管理	・児童虐待や登園拒否等の諸課題に対して園内体制を整えるとともに、関係機関との連携を図りながら適切な対応方針を示している。
		・日常の園における安全管理及び保健管理に努めるとともに、災害や想定外の事態に備えて「危機管理マニュアル」の整備と周知を行い、組織的対応ができる体制を整えている。 ・危機発生時には関係機関と連携し、迅速かつ的確な指示をすることができる。
		・予算執行、施設管理、文書管理及びセキュリティ管理等を適切に行っている。
情報分析活用力	人材育成	・教職員一人一人の能力や適性を把握し、チームや学年等によるOJTを推進する。 ・各教員のキャリアステージ及び研修履歴等に応じた外部での研修（Off - JT）を促し、「学び続ける」教職員を育成している。
		・全ての教職員が特別支援教育に関する理解を深め、専門性をもって幼児の指導に当たれるよう、教職員配置や研修内容等を工夫している。
		・人事評価制度の意義を理解するともに、「資質向上に関する指標」を活用して教職員に具体的な指導・助言等を行い、資質・能力の向上を図っている。
		・日常のコミュニケーションを通して信頼関係を築くとともに、充実したラインケアの構築に努めている。 ・教職員にセルフケアを意識付け、メンタルヘルス不調の予防及び速やかな初期対応並びにハラスメント等の防止に努め、風通しがよく働きやすい職場づくりを行っている。
		・ワーク・ライフ・バランスの考え方に基づき、教職員が心身ともに健康で誇りとやりがいをもって働くことができるよう、勤務時間等の管理を適正に行うなど、業務の改善や働き方の見直しを行っている。
調整力	家庭・地域・ 関係機関との連携	・家庭や地域・関係機関等に園の方針や運営状況等を分かりやすく伝え、園経営目標を共有し、「地域と共にある園づくり」を推進している。
		・異校種間の接続・連携や近隣の施設や学校等との情報交換を積極的に行っている。
		・教育委員会や関係機関等と適切に連携し、調整を行いながら園の課題解決につなげている。